

計量経済Ⅰ：復習テスト 1

学籍番号_____氏名_____

2023 年 4 月 11 日

注意：すべての質問に解答しなければ提出とは認めない。正答に修正した上で、復習テスト 1～8 を（左上で）ホチキス止めし、中間試験実施日（6 月 6 日の予定）にまとめて提出すること。

1. 以下の用語の定義を式または言葉で書きなさい（各 20 字程度）。

(a) 相関関係

(b) 因果関係

(c) 因果効果

(d) EBPM

(e) 対照実験

(f) 処置効果

(g) RCT

2. 以下の2変数の因果関係について, (1)A が原因で B が結果, (2)B が原因で A が結果, (3) どちらとも言える, (4) どちらとも言えないのどれに該当するか, 自分の考えを答えなさい (教科書 p. 11 「確認問題」参照).

(a) 「A: 家計の所得」と「B: 子どもの学力」

(b) 高校生の「A: クラブ活動への参加」と「B: 友達の数」

(c) 国の「A: 所得格差」と「B: 経済成長率」

(d) 大学生の「A: 喫煙する友人の割合」と「B: 自身の喫煙」

(e) 都市の「A: 貧困率」と「B: 犯罪発生率」

(f) 都市の「A: 犯罪発生率」と「B: 1人当たり警官数」

解答例

1. (a) 2 変数間の直線的な関係.
(b) 原因と結果の関係.
(c) 原因が結果に与える効果.
(d) 科学的な証拠に基づいて政策を決めること.
(e) 2 つの群の一方に処置（介入）を行い，他方に処置を行わずに効果を比較する実験.
(f) 処置群と対照群に対する効果の差.
(g) 処置群と対照群を無作為に割り当てる対照実験.
2. (a) (4) ※家計の所得が直接的に子どもの学力を高めるわけではない.
(b) (3)
(c) (4)
(d) (3)
(e) (3)
(f) (3)